



BricsCADライセンスオプション スタンドアロン&ネットワークインストールガイド (バージョン 21, 22)



目次

[製品エディションの選択](#)

- ライセンスの選択
- ライセンスについて
- ライセンス
- ライセンスオプション

[インストールオプション](#)

- 対話型インストール
- サイレントインストール
- シングルまたはボリュームライセンスのアクティベート
- ネットワークライセンスを自動的にアクティベート
- クライアントコンピュータでネットワークライセンスを使用する
- クライアントコンピュータでのネットワークライセンスのローミング
- クライアントコンピュータでローミング(借用)したネットワークライセンスの返却

[プロキシ設定](#)

- プロキシを設定する
- ネットワークライセンス使用時のプロキシ設定の恒久化

[ネットワークライセンスサーバ](#)

- Windows ネットワークライセンス サーバーのセットアップ
- Bricsysネットワークライセンスマネージャをインストール
- Bricsysネットワークライセンスマネージャの新規インストール
- Bricsysネットワークライセンスマネージャのアップグレード
- コマンドラインからのインストール
- ネットワークライセンスサーバの起動

[ネットワークライセンスサーバ管理](#)

- Web インターフェイスを開く
- ライセンスとサーバのステータスの確認
- ライセンスの再読み込み/サーバの再起動
- フェールオーバーライセンスの作成

[ライセンスをプールする](#)

- オプションの編集
- 一般的に使用されるオプション
- ライセンスファイルの識別
- RLM_Projectによりライセンスをプール

[高度な設定](#)

- アンチウイルス
- ファイアウォール
- ローミング(借用)

[Linuxネットワークライセンスサーバのセットアップ](#)

[複数のBricsysアカウントによるBricsCADライセンスの管理](#)

- BricsCADのライセンスの変更
- BricsCADライセンスの無効化または取り消し
- ライセンスのアクティベート解除
- ライセンスの取り消し

[別のコンピュータにライセンスを移行](#)

[ネットワークライセンスを別のサーバーへの移行](#)

[BricsCAD Communicatorのアクティベート](#)

- BricsCAD Communicatorのシステム変数を使用

[追加のサポートを探す/お問い合わせ BricsCAD](#)

BricsCAD® 製品エディションを選択します

BricsCAD®には5つの製品エディションがあります:

BricsCAD® Lite

一般的な2Dデザインのみを作成する場合は、BricsCAD® Liteが最適です。AutoCAD® LT と比較して、3D モデルを表示および操作し、Lisp ルーチンを実行することもできます。LISPを使用すると、BricsCAD® ユーザーは、BricsCAD®内で実行されるカスタマイズされたルーチンまたは小さなアプリケーションをロードできます。

BricsCAD® Pro

BricsCAD® Proには、完全な3D拘束システムによるダイレクト3Dモデリング、マテリアルと照明によるレンダリング、サードパーティアプリケーションへのアクセスが含まれます。AutoCADのVBAで開発したプラグインも基本的にそのまま動きます。(動作検証は必要です。)

BricsCAD® BIM

BricsCAD® BIMライセンスには、BricsCAD® Proのすべての機能が含まれています。既にお持ちのCADスキルを使用する事で、わずかな時間で実際のビルディングインフォメーションモデルの作成にスムーズに移行できます。BricsCADは1つのプラットフォーム上で業界標準のDWGを駆使して2Dから3D、BIMまで作業可能です。

BricsCAD® Mechanical

BricsCAD® Proのすべての機能に加えて、BricsCAD® Mechanicalには、板金機能を含む完全な機械設計ツールキットが含まれています。BricsCAD® Communicatorモジュールは、関連する製品製造情報、またはPMIを含む業界標準の機械CADフォーマットからファイルをインポートし、エクスポートします。BricsCADは1つのプラットフォーム上で業界標準のDWGを駆使して2Dから3D、板金機能を含む完全な機械設計まで作業可能です。

BricsCAD® Ultimate

BricsCAD® Ultimateは、BricsCAD® BIMとBricsCAD® Mechanical機能を1つのDWGベースのプラットフォームに組み合わせています。

お客様に最適なBricsCADのエディションを見つけてください。["機能比較"](#)と["エディション比較"](#)ライセンスの選択

お客様が必要なエディションの数と、ネットワーク接続されたユーザーの間での共有が必要かどうかをご検討ください。以下の基本的なルールに沿ってライセンスがご選びいただけます。

- ネットワーク接続されたユーザーの間での共有ライセンスが不要な場合は、シングルまたはボリュームの永久ライセンス(初回購入費用で永続使用可能です。Maintenanceを追加購入いただく事で最新の状態に保つことができます。※ボリュームはMaintenanceの初年度のご購入が必須)またはサブスクリプションをご購入ください。
- 複数のユーザー、ワークグループ、または場所でライセンスを共有する必要がある場合は、ネットワークライセンスを永久ライセンスまたはサブスクリプションでご購入することをお勧めします。

BricsCADは製品エディションとライセンスの種類をお客様のご利用環境に合わせて組み合わせることができます。BricsCAD®はお客様のニーズに最も適したライセンスの組み合わせを選択できます。

ライセンスについて

サブスクリプションのみの他社CADツールとは異なり、BricsCAD® はさまざまなライセンスタイプをご提供しています。これによりお客様のCADに関わるコストを削減いただく事が出来ます。BricsCAD®が提供するライセンスタイプは次のとおりです:

ライセンスタイプ

BricsCAD®には2つのライセンスタイプがあります:

- 永久ライセンス
- サブスクリプション

ライセンスオプション

永久ライセンス

永久ライセンスを購入すると、ソフトウェアの所有者となります。BricsCAD® エディションは、Microsoft Windows、macOS、および Linux で動作します。

次の2つのメンテナンス オプションがあります。

1. BricsCAD Maintenanceにはアップグレード権利と優先サポートが含まれています。BricsCAD®の最新のマイナーバージョンとメジャーバージョンが常に利用可能で、電子メールベースの技術サポートの優先サポート。追加の保守情報については、<https://www.bricsys.com/en-intl/maintenance>
2. お客様の判断とタイミングで有償でアップグレードいただく事も可能です。

サブスクリプション

サブスクリプションはご契約期間中のBricsCADのご利用に加えてBricsCAD Maintenanceのサービス(優先サポートとサブスクリプションの有効期間中にリリースされるすべての新しいバージョンへのアクセス)が含まれます。

シングルユーザーライセンス

シングルユーザーライセンスはライセンスに紐づくユーザーが所有するPC端末毎にライセンスキーが必要です。シングルユーザーライセンスは、2台のマシン(例:オフィスのワークステーションとフィールドで利用するノートパソコン)にインストールすることができます。ただし同時起動はできません。通常はPC故障時の復旧用として保持いただくケースが多いです。シングルユーザーライセンスは、永久ライセンスまたはサブスクリプションで利用可能です。学生向けのアカデミックライセンスはシングルユーザーのみのご提供となります。

ボリュームライセンス

ボリュームライセンスは定義されたユーザーベース内(例:同一企業内)でBricsCADソフトウェアを使用できます。ひとつのライセンスキーを使用して複数の端末にソフトウェアをインストールできます。これにより、ライセンス管理者の方のご負担が大幅に簡素化されます。ボリュームライセンスは、永久ライセンスまたはサブスクリプションで利用できます。最初の1年間はBricsCAD Maintenanceの同時購入が必須です。(サブスクリプションの金額はMaintenanceを含んでいます。) 学校や教育機関向けのアカデミックライセンスではボリュームライセンスが提供されます。

ネットワークライセンス

ネットワークライセンスはLAN(ローカルエリアネットワーク)内の複数のユーザーがライセンス管理サーバーにプールされたライセンスキーを共有してBricsCADにアクセスできます。使用可能なネットワークライセンスの数は、ソフトウェアを同時に利用できるユーザーの数になります。ネットワークライセンスは永久ライセンスまたはサブスクリプションで利用でき、最初の1年間BricsCAD Maintenanceの同時購入が必須です。(サブスクリプションの金額はMaintenanceを含んでいます。) アカデミックライセンスを使用している機関でネットワークライセンスの利用を希望される場合はBricsysまでお問い合わせください。

- BricsCADは、BricsCAD Shapeを含むすべての製品エディションが含まれたダウンロードファイルとして提供されます。
- BricsCADを初めてインストールするときは、最初に30日間の試用モードを実行できます。
- 前のバージョンを残したまま、新しいメジャーバージョンをインストールする事ができます。

こちらもご参照下さい: [アカデミックライセンスのインストール](#)

インストールオプション

このセクションではBricsCADをインストールするときに使用できる複数の方法について説明します。

対話型インストール

通常の (サイレントでない) インストールの場合、ユーザーはダイアログ・ボックスを介してインストールに必要な入力作業を行います。

Windowsインストーラのユーザーインターフェイスは、ターゲットシステムを照会しセットアップウィザードを表示します。セットアップウィザードを使用すると、ユーザーはインストールに関わるさまざまなオプションを変更できます。

1. インストーラファイルをダブルクリックします。
2. [次へ]をクリックします。
3. チェックボックスを選択して、使用許諾契約書に同意します。
4. [次へ]をクリックします。
5. :以下のいずれかの操作を行います。
 - インストール先フォルダを選択します。
 - [変更...]ボタンをクリックして、インストールフォルダを選択します。
6. [次へ] をクリックします。
7. [インストール] をクリックして、インストールを開始します。
8. デスクトップにショートカットを追加するかどうか、ならびにインストールプロセスが完了したときにリリースノートを表示するかどうかを選択します。
9. [次へ] をクリックします。
10. [完了] をクリックして、インストールプロセスを終了します。

BricsCADがインストールされています。

サイレントインストール

サイレントインストールまたは静かなインストールの場合、セットアップウィザードのユーザーインターフェイスは無効になり、ユーザーインターフェイスシーケンス中のアクションは実行されません。

サイレントインストールの場合は、管理者権限が必要です。

1. **PowerShell**か**コマンドプロンプト**を開いて**BricsCAD®**インストーラ .msiファイルの場所へ移動(cd)します。**注:** Windows 10では、エクスプローラでフォルダをShift+右クリックすると「**PowerShellウィンドウを開く**」のコンテキストメニューが表示されます。これにより、ディレクトリを変更することなく、現在のウィンドウでPowerShellを開くことができます。
2. **msiexec /i** と入力します。次に以下の操作を行います。
 - BricsCADインストーラのファイル名を入力します (例:BricsCAD-V22.1.04-1-ja_JP(x64).msi)。
 - BricsCADインストーラファイルをWindowsエクスプローラダイアログからコマンドウィンドウにドラッグします。
3. コマンドプロンプトに **/qn** と入力します。
4. (オプション) **ADDDESKTOPSHORTCUT=""** を追加すると、デスクトップショートカットの追加が抑制されます。
5. (オプション) **SHOWRELEASENOTES=""** を追加すると、インストールの完了時にリリースノートの表示を抑制されます。
6. (オプション) **APPLICATIONFOLDER="your_app_folder"** 追加すると、BricsCAD のカスタムフォルダにインストールします。
7. (オプション) **BRXLICENSEDESTFILE="path_to_lic_file"** の追加は、つぎのいずれかのプロパティが定義されている場合にライセンス・ファイルのフォルダを指定します。**BRXLICENSEKEY**, **BRXLICENSEFILE** または **BRXLICENSESERVER**。

デフォルトは **APPLICATIONFOLDER\BricsCAD.lic** です。

8. (オプション)BRXLICENSEKEY="your_license_key"を追加してライセンスをアクティベートし、BRXLICENSEDESTFILE で指定されたフォルダに保存します
9. (オプション) BRXLICENSEFILE= "your_license_file"を追加して、BRXLICENSEDESTFILEで指定されたフォルダにライセンス ファイルコピーします。
10. (オプション) BRXLICENSESERVER= "ホスト"か、BRXLICENSESERVER="port@host"を追加すると、BRXLICENSEDESTFILE で指定したフォルダにサーバーホスト指定を含むライセンスファイルが作成されます。
11. (*) ライセンスサーバーがデフォルトのポート5053とは異なるポートを使用している場合。
12. (32 BIT のみのオプション) INSTALLVBA="0"またはINSTALLVBA= "" の追加は、VBA をインストールしません。

コマンドプロンプトの完全なエントリは、`msiexec /i "BricsCAD-Vxx.x.xx-x-en_US(x64).msi" /qn ADDDESKTOPSHORTCUT="" SHOWRELEASENOTES=""`。

13. **Enter**キーを押して、インストールを開始します。

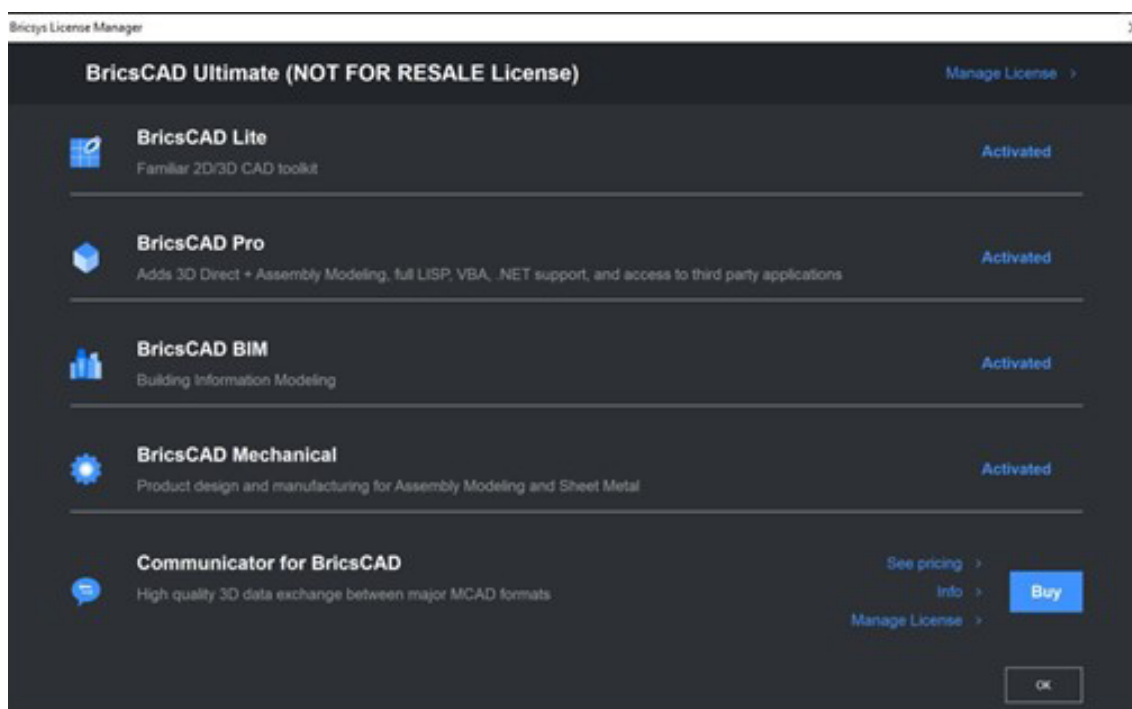
注:

- より多くのオプションについては、コマンドプロンプトにつきのように入力します。 `msiexec /?`
- MicrosoftのWebサイトで、msiexec コマンドについての[詳細情報](#)を見つけることができます。

シングルまたはボリューム ライセンスを自動的にアクティベートする (オンライン)

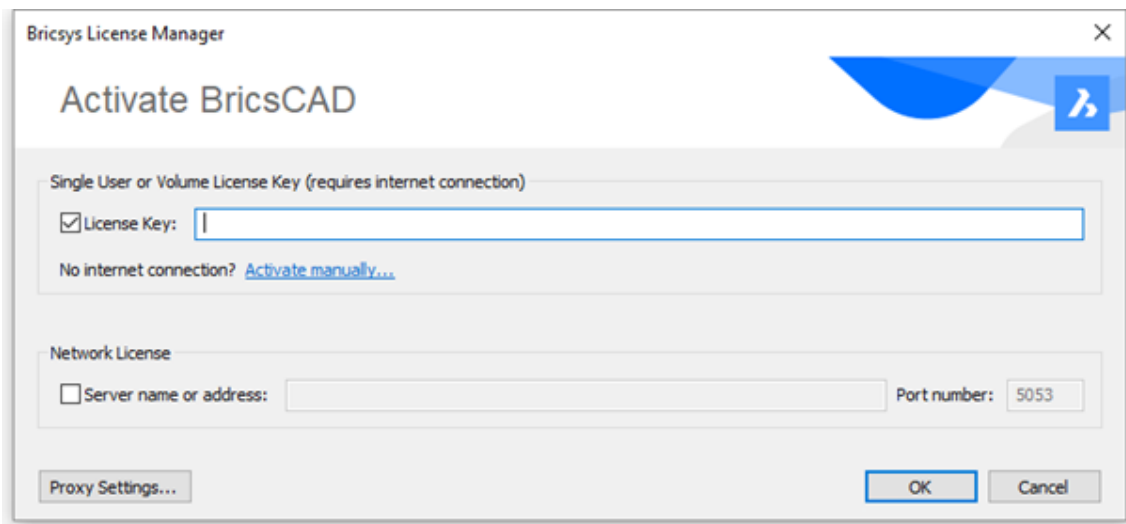
BricsCADのライセンスをアクティベートするには、インターネット接続が必要です。

1. BricsCADを起動します。
注: 試用期間が終了したら、[BricsCADランチャー] ダイアログボックスの[ライセンスのアクティベート] をクリックし、手順5に進みます。
2. [LICENSEMANAGER](#) コマンドを起動します。Bricsysライセンスマネージャ ダイアログが表示されます。





3. [ライセンス管理]をクリックします。
[ライセンス情報] ダイアログが表示されます。
4. [変更] ボタンをクリックします。
[BricsCAD ライセンス マネージャ - BricsCADのアクティブ化] ダイアログ ボックスが表示されます。



5. ライセンスキーをライセンスキー欄に入力します。
6. **OK**ボタンをクリックします。
 - ライセンスキーはインターネット経由で登録されます。
 - ライセンスキーが正常にアクティベートされると、ダイアログが表示されます。
7. ダイアログボックスのテキストを読み、[理解] ボタンをクリックします。

リンクをクリック:

シングルライセンスまたはボリュームライセンスを手動で(オフラインで)アクティベートする

ネットワークライセンスを自動的にアクティベート (オンライン)

BricsCADのライセンスをアクティベートするには、インターネット接続が必要です。

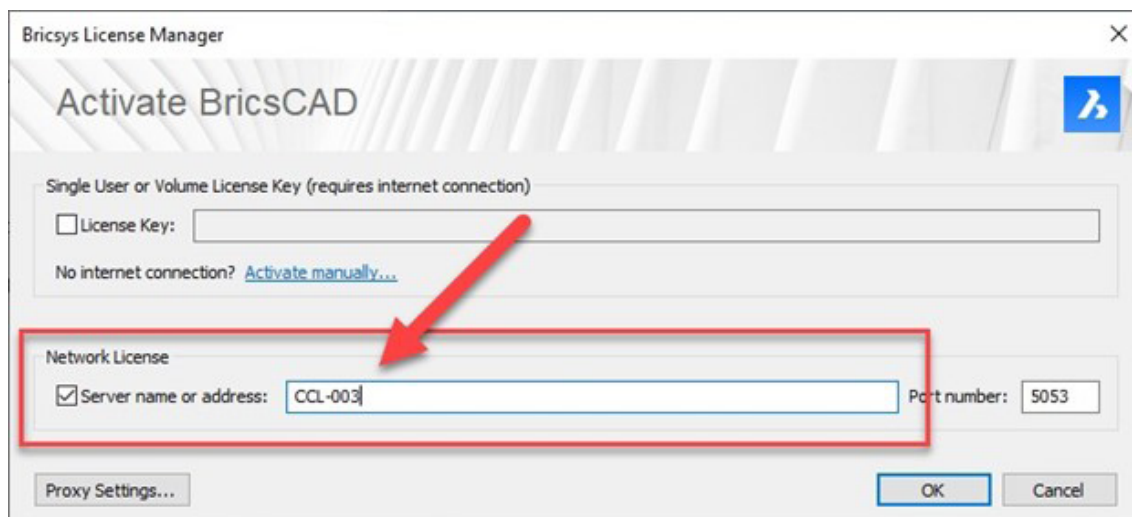
1. オペレーティングシステムの [スタート] メニューから **[License activation]** ショートカットをクリックします。
[Bricsys License Manager - Activate Network License] ダイアログボックス開きます。
2. **[License Key]**(ライセンスキー) フィールドに新しいネットワークライセンスを入力し、**[OK]**をクリックします。
3. オペレーティングシステムの [スタート] メニューから **License server administration(ライセンスサーバー管理)**のショートカットをクリックして、「**Reprise ライセンスサーバー管理**を開きます。
4. 左側のメニューの**[サーバーの再読み取り/再起動]**オプションをクリックします。

リンクをクリック:
ネットワークライセンスを手動でアクティベートする(オフライン)

クライアントコンピュータでネットワークライセンスを使用する

ネットワークライセンスをライセンスサーバー上でアクティベートすることで、ネットワークライセンスをクライアントコンピュータ上で使用することができます。

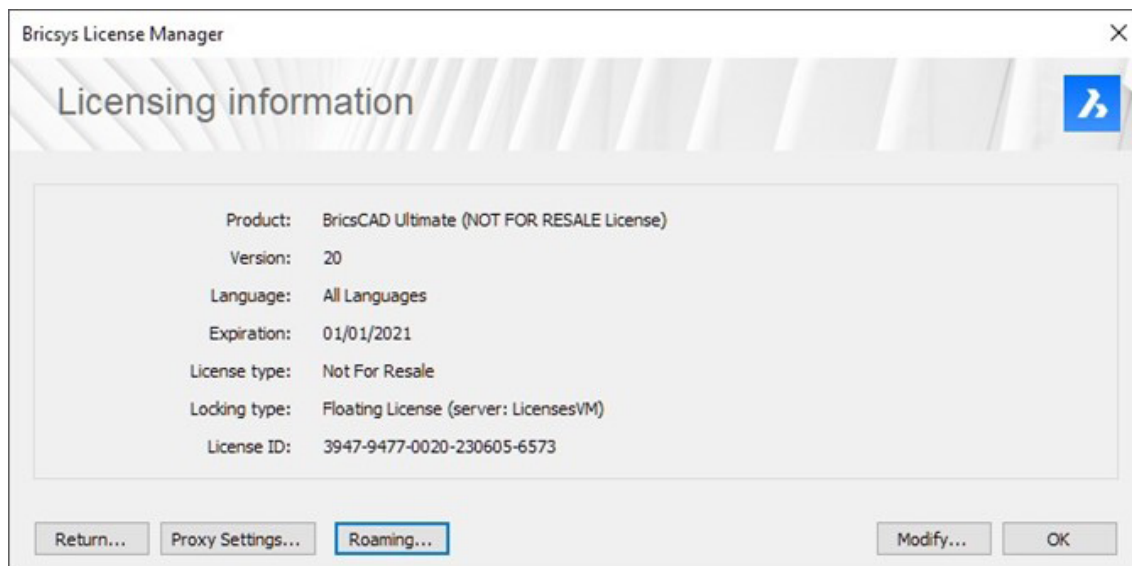
1. 以下のいずれかの操作を行います：
 - BricsCADを初めて起動する場合は、[BricsCADランチャー]ダイアログボックスの[ライセンス [の有効化を](#)]ボタンをクリックします。
 - 既存のライセンスを置換またはアップグレードする場合は、[LICENSEMANAGER](#) コマンドを起動し、[ライセンス管理] クリックして、[変更...] ボタンをクリックします。
2. [BricsCAD をアクティベート] ダイアログボックスの[ネットワークライセンス]オプションをクリックします。
3. ライセンスサーバーのホスト名またはIPアドレスをサーバー名またはIPアドレス フィールドに入力します。



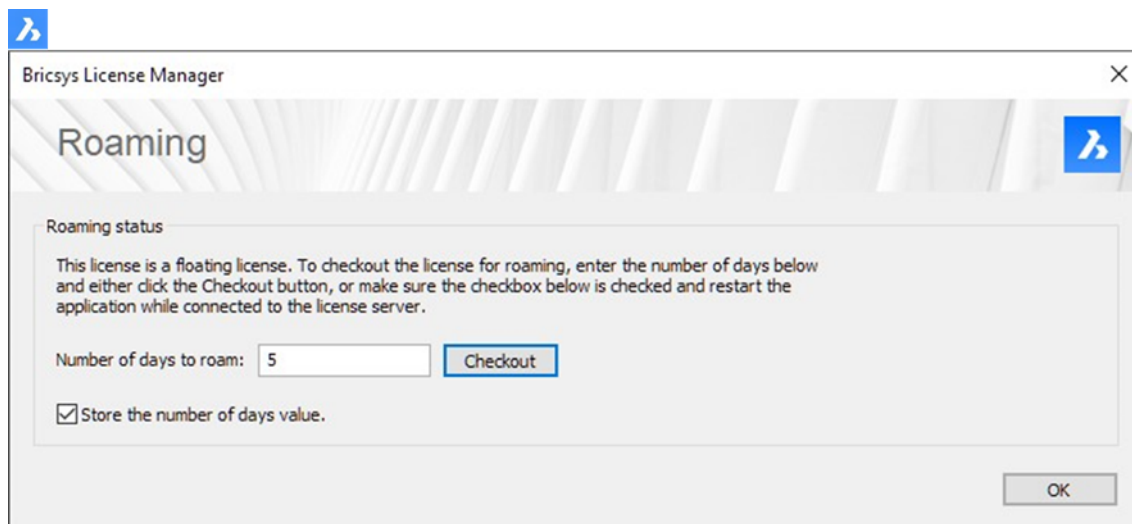
4. (オプション) **ポート番号**フィールドにポート番号を入力します。
5. お使いのコンピュータがプロキシサーバー経由でインターネットに接続している場合は、[\[プロキシ設定...\]](#)をクリックし、ネットワークライセンスのプロキシ設定を構成してください。
6. OKボタンをクリックします。

クライアントコンピュータでのネットワークライセンスのローミング

ネットワークライセンスは、ライセンスサーバー（自宅、オフィスの外で仕事、...）への接続なしでのBricsCADを使用する、借用（ローミング）という機能があります。ネットワークライセンスがクライアントコンピュータ上で使用されている時は、**ローミング...ボタン**が**ライセンス情報**ダイアログに表示されます。



1. お使いのコンピュータがプロキシサーバー経由でインターネットに接続している場合は、**プロキシ設定...**をクリックし、ネットワークライセンスのプロキシ設定を構成してください。
2. **借用...**ボタンをクリックします。
借用ダイアログが開きます。

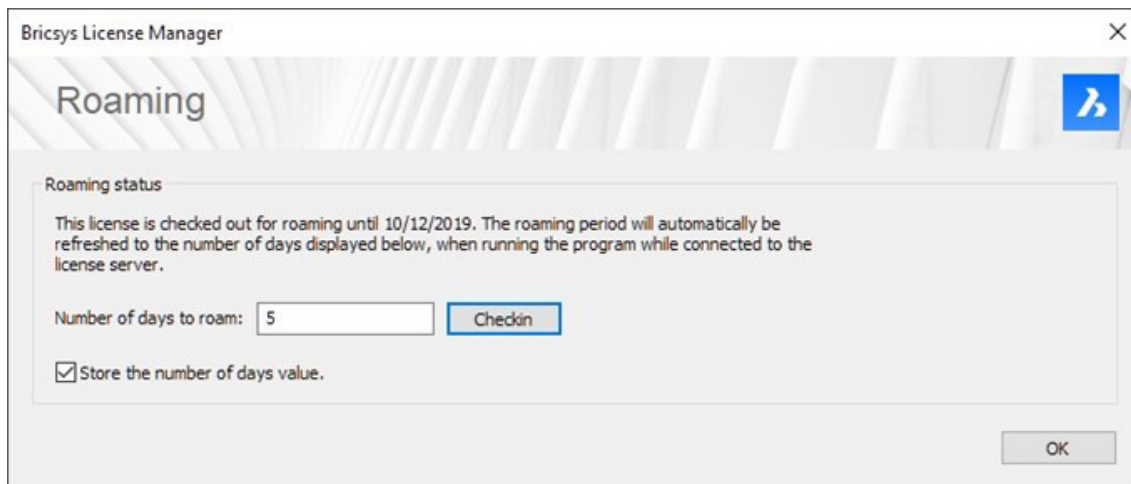


3. ライセンスを借用する日数を入力し、**[チェックアウト]**ボタンをクリックします。
4. (オプション)コンピュータがサーバーに接続されるたびにローミング期間を自動的に更新する場合は、チェックボックスをオンにします。
5. 変更を適用するにはBricsCADの再起動が必要です。

クライアント コンピューターでローミング(借用)したネットワークライセンスの返却

ライセンスサーバーに接続している場合は、ローミングされたライセンスをサーバーに返却できます。

1. [ライセンス情報] ダイアログ ボックスの [\[借用...\]](#) ボタンをクリックします。
[借用] ダイアログ ボックスが開きます。



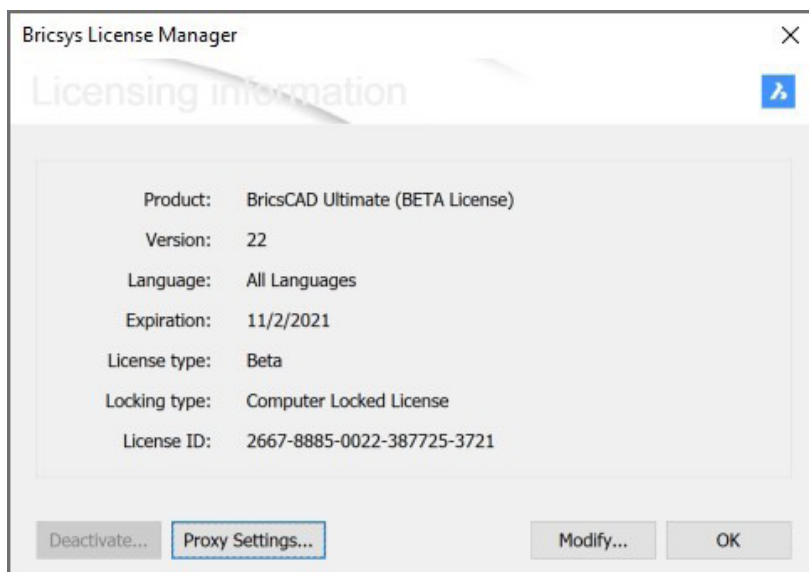
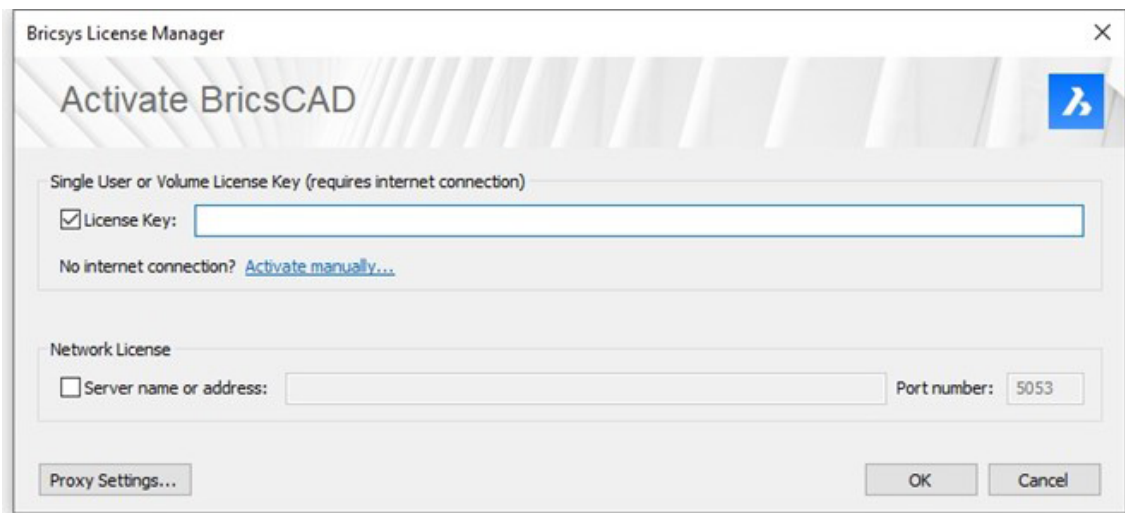
2. **チェックイン** ボタンをクリックします。
3. 変更を適用するにはBricsCADの再起動が必要です。

プロキシ設定

一部のコンピュータは、プロキシサーバーを介してネットワークまたはインターネットに接続されています。したがって、プロキシ設定は、ライセンスをアクティブ化または非アクティブ化する前に構成する必要があります。

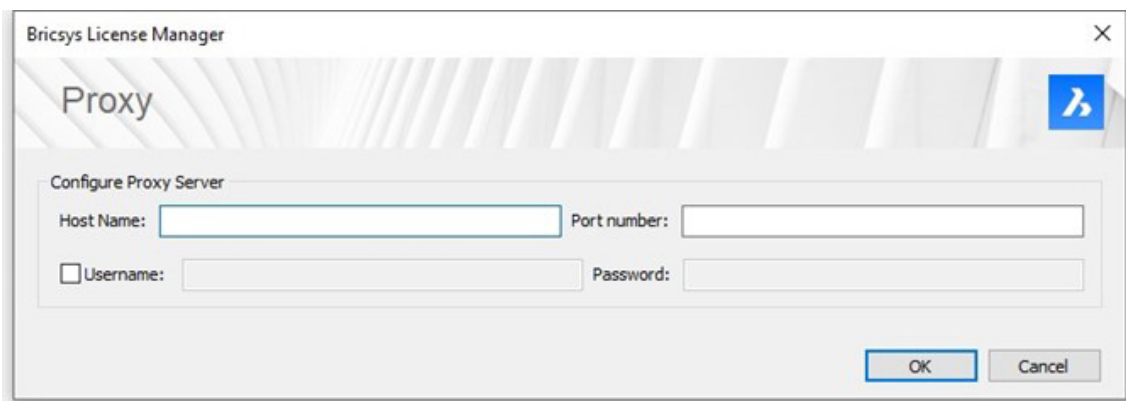
プロキシを設定する

1. [BricsCAD の有効化]または[ライセンス情報] ダイアログ・ボックスの[プロキシ設定...] ボタンをクリックします。



プロキシダイアログが開きます。

2. **[プロキシ]** ダイアログ ボックスで必要なフィールドに入力します。



3. 続けるには**[OK]** ボタンをクリックしてください。

プロキシ設定は現在の**BricsCAD**®セッションのみで有効です。将来、ライセンスを再アクティベート、または、アクティベート解除するときは、プロキシを再設定する必要があります。

[ネットワークライセンス使用時のプロキシ設定の恒久化](#)

ネットワークライセンスを使用する場合、BricsCADはセッションが開かれるたびにライセンスサーバーに接続する必要があります。したがって、プロキシ設定は永続的に構成する必要があります。

BricsCADを実行しているコンピュータで、以下のように設定します。

1. **HTTP_PROXY**システム変数を作成：
HTTP_PROXY=[LicenseServer]:[PortNumber]
2. (オプション)プロキシサーバーが基本認証をサポートしている場合は、**HTTP_PROXY_CREDENTIALS**変数を作成します。HTTP_PROXY_CREDENTIALS=[ユーザー名]:[パスワード]

[プロキシサーバー](#)

BricsCADとライセンスサーバーの間にプロキシサーバーが存在する場合、BricsCADでプロキシ設定を行う必要があります。

参照: [ネットワークライセンスを使用するためにプロキシ設定を永続的に構成する](#)

ネットワークライセンスサーバ

クライアントコンピュータ上のBricsCADでネットワークライセンスを利用できるようにするには、ネットワーク管理者が最初に Reprise Software のネットワークライセンスサーバをインストールする必要があります。

Bricsysネットワークライセンスマネージャは、サーバをインストールする別のプログラムです。ネットワークライセンスサーバを起動した後、Webインターフェイスを介して構成できます。

BricsCADの実行にライセンスファイルが必要であるように、サーバもオンラインまたは手動でアクティベートできるネットワークライセンスファイルが必要です。

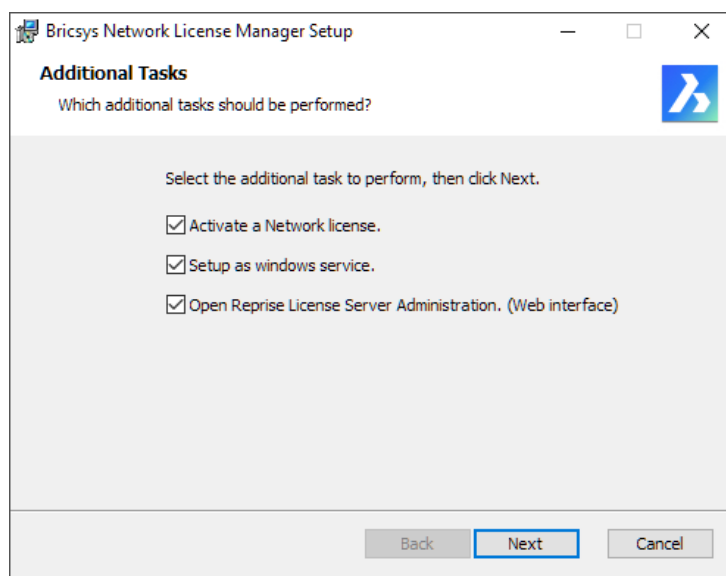
ネットワークライセンスは一度だけアクティベートでき、サーバにロックされます。ネットワークライセンスがアクティベートされ、サーバがスタートすると、クライアントコンピュータ上で、BricsCADネットワークライセンスを使用することが可能になります。

注:リプライズソフトウェアは、Mac上のネットワークライセンスサーバを提供していません。しかし、Macクライアントコンピュータ上でライセンスを提供するために、Windows または Linuxネットワークライセンスサーバをインストールすることが可能です。

Windows ネットワーク ライセンス サーバのセットアップ

Bricsysネットワークライセンスマネージャをインストール

1. [Bricsysネットワークライセンスマネージャ \(Windows\) のダウンロード](#)
2. インストールを続行するには、インストールMSIファイルをダブルクリックします。
3. エンドユーザーライセンス契約の条項に同意します。
4. 保存先フォルダを受け入れるか、[変更]をクリックします。をクリックして、保存先フォルダを変更します。
5. インストールボタンをクリックします。
6. インストール後に実行する追加タスクの横にあるチェックボックスをオンにします。



- **ネットワークライセンスの認証**
インストール後、Bricsysネットワークライセンスマネージャが開き、ネットワークライセンスのアクティベーションを要求されます。スタートメニューのライセンス認証のショートカットをクリックすることで、後からBricsysネットワークライセンスマネージャを開くことができます。
- **Windowsサービスのセットアップ**
Windows を起動するたびに、ライセンス サーバがサービスとして自動的に開始されます。これは、管理者に昇格したコマンドプロ

ンプトで次のコマンドを使用して後で行うことができます: `rlm.exe-dlog rlm.log-install_service`。

- **Repriseライセンスサーバー管理(Webインターフェイス)を開く**

インストール後、Repriseライセンスサーバー管理Webインターフェイスが開きます。これにより、ネットワークライセンスを管理できます。後で [ライセンスサーバー管理] を開くには、[スタート] メニューの [ライセンスサーバー管理] ショートカットをクリックします。

7. [次へ] をクリックします。

Bricsysネットワークライセンスマネージャの新規インストール

[追加タスク]ダイアログで、すべてのチェックボックスをオンにしてください(上の画像を参照)。

Bricsysネットワークライセンスマネージャのアップグレード

1. Bricsysネットワークライセンスマネージャをダウンロードしてインストールし、コンピューターをネットワークライセンスサーバーとして使用します。
2. [追加タスク]の横にあるすべてのチェックボックスの選択を必ず解除してください。
3. インストールは、ライセンスサーバーを再起動します。

コマンドラインからのインストール

コマンドウィンドウからネットワークライセンスマネージャを起動することもできます。

デフォルトでは、コマンドラインからインストールすると、**ネットワークライセンスの認証、Windowsサービスとしてセットアップ、および、Open Reprise License Server Administration (Web インターフェイス)** のオプションが無効になっています。これらのオプションを使用可能にするには、それぞれのパラメーター `ACTIVATELICENSE`、`INSTALLSERVICE`、および `OPENWEBINTERFACE` を使用します。

例えば、`msiexec / QB / I Bricsys-NetworkLicenseManager.msi ACTIVATELICENSE = 1 INSTALLSERVICE = 1`は起動ダイアログのみを表示し、ウェブインターフェイスを表示せずにサービスとしてインストールします。

- より多くのオプションについては、コマンドプロンプトにつきの入力します。 `msiexec /?`
- MicrosoftのWebサイトで、`msiexec` コマンドについての[詳細情報](#)を見つけることができます。

ネットワークライセンスサーバの起動

ネットワークライセンスサーバは、インストール後に自動的に起動/再起動されます。サーバが起動したかどうかを確認するには、Windowsサービスを開き、RLM が実行中のサービスかどうかを確認します。必要に応じてサービスを手動で開始/停止/再起動できます。

[ネットワークライセンスサーバー管理](#)を使用してサーバーを設定できます。

ネットワークライセンスがアクティベートされ、サーバーがスタートすると、クライアントコンピュータ上で、[BricsCADネットワークライセンスを使用することが可能になります](#)。

ネットワークライセンスサーバ管理

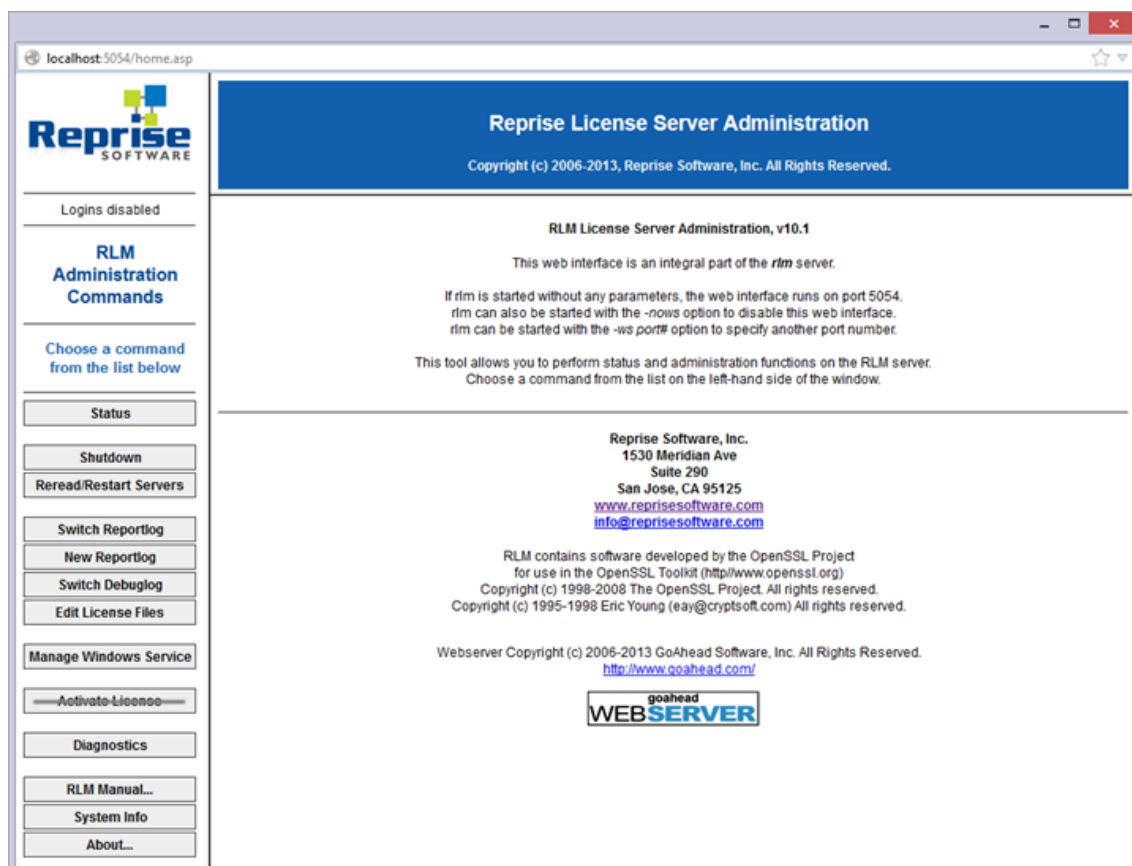
ネットワークライセンスサーバ (RLMライセンスサーバとも呼ばれます) が実行されている場合、リプライズライセンスサーバ管理ウェブインターフェイスを使用して構成できます。

Web インターフェイスを開く

1. ネットワークライセンスサーバが実行されていない場合、[スタート]メニューで、ライセンスサーバのショートカットをクリックします (Windows Vista以降の場合: 右クリック> [管理者として実行])。コンソールウィンドウが開きます。
2. Web ブラウザーを開きます。

http://localhost:5054 に行く

リプライズライセンスサーバ管理 (ウェブインターフェイス) を開きます。



- アクティベートライセンスボタンを使用しないでください!
- すべてのオプションの概要を取得するには、左側のRLMマニュアル... ボタンをクリックするか、RLMライセンス管理マニュアルを開きます。

ライセンスとサーバのステータスの確認

すべてのネットワークライセンスと、サーバの状態を確認することができます。

1. 左側のステータスボタンをクリックします。[LicenseServer] (ポート5053) の "RLM" のページのステータスが表示されます。

The screenshot shows the Reprise License Server Administration web interface. The main content area displays the status for "rim" on LicenseServer (port 5053). It includes a table for RLM software and command versions, a table for rim Statistics, and a table for ISV Servers.

RLM software version	v12.2 (build:2)
RLM comm version	v1.2
debug log file	rim.log
license files	Bricsys.lic

rim Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	12/04 13:01:44	12/04 13:01:45	12/04 13:01:45
Messages	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Connections	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)

ISV Servers												
Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	OPTIONS	TRANSFER	SHUTDOWN	ACTIVATE	
bricsys	63063	Yes	0	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	

2. ISV Servers表の Server Status列の bricsysボタンをクリックすると、Bricsys Networkライセンスのステータスが表示されます。



ライセンスの再読み込み/サーバーの再起動

サーバー起動中にネットワークライセンスを有効にした場合、ライセンスの再読み込み/サーバーの再起動が必要です。

1. 左側のメニューの[Reread/Restart Servers]ボタンをクリックします。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2015, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

ISV bricsys status on LicenseServer (port 5053)

bricsys software version	v12.2 (build2)
bricsys comm version	v1.2
debug log file	bricsys.dlog
report log file	._n/a_.

bricsys Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start Time	12/04 13:01:45	12/04 13:01:46	12/04 13:01:46
Messages	5 (0/sec)	5 (0/sec)	5 (0/sec)
Connections	2 (0/sec)	2 (0/sec)	2 (0/sec)
Checkouts	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Denials	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
License Removals	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Current Connections	0		

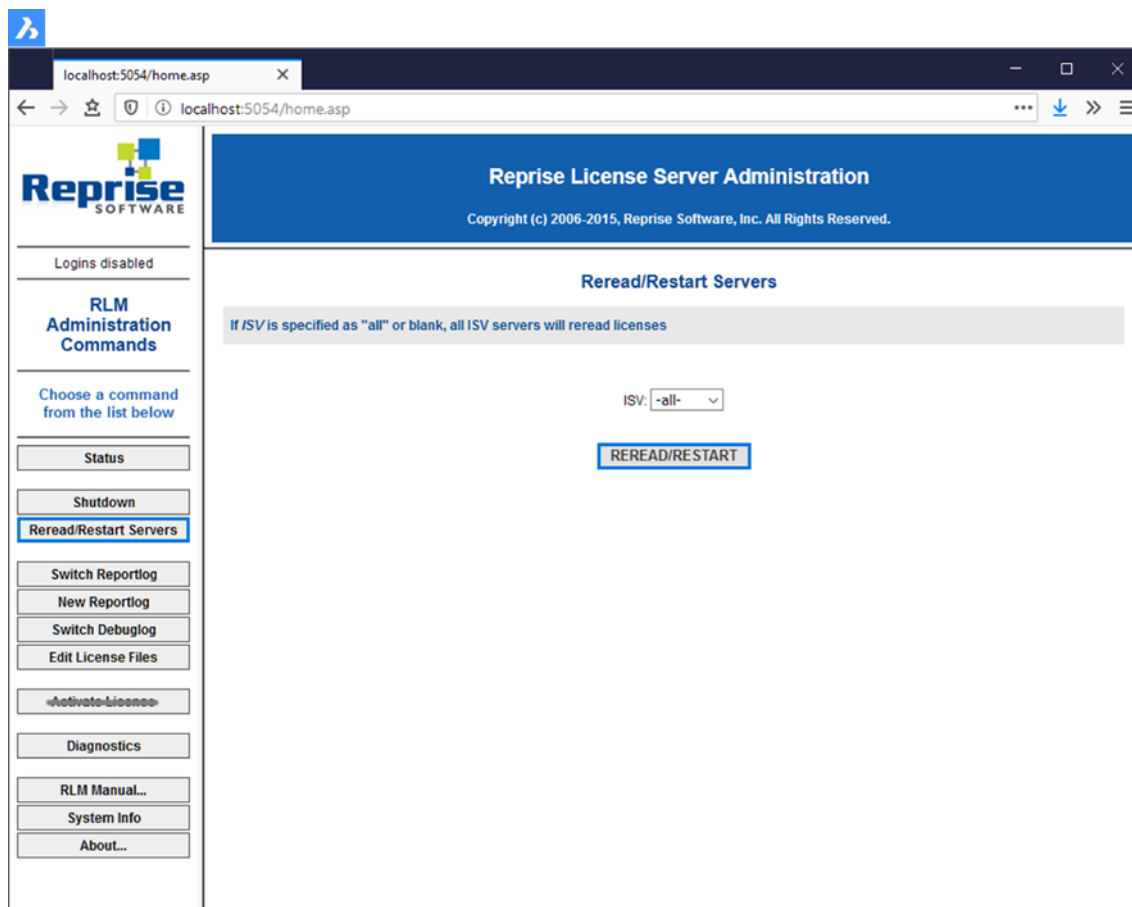
Enter license password to select license results. Only licenses with matching passwords (or with no passwords) will be displayed above.

License Password:

Refresh

BACK

2. [Reread/Restart Servers]ボタンをクリックします。サーバーが再起動し、ネットワークライセンスを再読み込みします。



フェールオーバーライセンスの作成

フェールオーバーライセンスファイルの作成は、通常のシングルサーバーセットアップから始めてネットワークライセンスのアクティベーションを完了し、アクティベーションを行わないバックアップライセンスサーバーに Reprise License Manager をインストールして設定します。

BricsCAD のフェールオーバーライセンスを作成するには、次のものがが必要です。

- プライマリサーバーのIPアドレス
- バックアップサーバーのIPアドレス
- プライマリサーバーのホストID
- バックアップサーバーのホストID

データが BricsCAD に送信されると、BricsCADはfailover.licを作成できます - このfailover.licは、プライマリライセンスサーバーでのアクティベーション中に生成された Bricsys.lic とともに、バックアップライセンスサーバーに配置する必要があります。

また、フェールオーバーとプライマリが通信できるようにファイアウォール・ルールも導入する必要があります(ポート5053と5054にアクセスする必要があります)。

クライアント側では、BricsCADはフェールオーバーサーバーのホスト名とポートを記述するカスタムライセンスファイルを提供するため、BricsCADはプライマリにアクセスできない場合にそれにフォールバックできます。

ライセンスをプールする

オプションの編集

オプションファイルは、2つの方法で編集できます。

- Network License Manager のインストール フォルダにある bricsys.opt ファイル。
- ネットワークライセンスマネージャのウェブインターフェース上。
 - ライセンスサーバー上の `http://localhost:5054` をブラウザ。
 - 左側のメニューで「ステータス」をクリック。
 - Brics ISV 行の OPTIONS 列にある「Bricsys」をクリック。

編集後、ライセンス・サーバを再読み込み/再起動します。

一般的に使用されるオプション

グループを使用して、ユーザー名、ホスト名、または IP アドレスのリストを定義できます。この名前は、後でそのグループにルールを適用するために使用できます。

GROUP

ユーザー名のグループを定義します。

構文:

GROUP ユーザー名のリスト

例:

GROUP engineers userA userB userC

HOST_GROUP

ホスト名のグループを定義します。

構文:

HOST_GROUP ホスト名のリスト

例:

HOST_GROUP firstFloor machineA machineB machineC

INTERNET_GROUP

IP アドレスのグループを定義します。

構文:

INTERNET_GROUP IP アドレスのリスト

例:

INTERNET_GROUP networkGhent 192.168.1.*192.168.2.*

ワイルドカード文字 (*) は、IP アドレスで使用することができます。

RESERVE

特定の (グループの) ユーザーに多数のライセンスを予約します。構文:

RESERVE num product user|host|group|host_group|internet|internet_group|project who [id=nnn]

例:

RESERVE 20 bricscad GROUP engineers

MAX

特定の (グループの) ユーザーが使用できるライセンスの数を制限します。構文:

最大製品ユーザー|ホスト|グループ|host_group|インターネット|internet_group|プロジェクト who [id=nnn]

例:

MAX 5 bricscad HOST_GROUP firstFloor

INCLUDE

製品のライセンスは、特定の (グループの) ユーザーにのみ許可します。INCLUDE 行で指定されていないユーザーは、その製品を使用することはできません。

構文:



INCLUDE product userhost|group|host_group|internet|internet_group|project who [id=nnn]

例: INCLUDE bricscad GROUP bricscadusers

EXCLUDE

特定の (グループの) ユーザーに対する製品のライセンスを許可しません。

構文:

[id=nnn] の製品ユーザー|ホスト|グループ|host_group|インターネット|internet_group|プロジェクトを除外する

例:

EXCLUDE bricscad INTERNET_GROUP 1.1.*.*

その他のオプションは、段落「ISVオプションファイル」の下RLMのエンドユーザーマニュアルに記載されています

ライセンスファイルの識別

V15以降、Repriseライセンスマネージャの新機能により、ライセンスファイルに「_id」フィールドを追加できるようになりました。この「_id」を使用すると、各ライセンスファイルを個別のライセンスプールとして識別できます。

追加された OPTION に [id=nnn] パラメーターを指定すると、その OPTION は対応するライセンス・ファイルにのみ影響します。

使用例 BricsCAD Lite 10シートとBricsCAD Pro 10シートの2つのライセンスをお持ちで、どのユーザーがどのレベルを使用できるかを指定したい場合。

ライセンスファイル

例: Liteライセンス

HOST host_name ethernet_mac 5053 ISV bricsys

LICENSE bricsys bricscad 15 permanent 10 share=uh contract=1 options="LA:xx_XX TY:FCO LE:PRO" _ck=6a06665467 sig=""

HOST host_name ethernet_mac 5053 ISV bricsys

LICENSE bricsys bricscad 15 permanent 10 share=uh contract=1 options="LA:xx_XX TY:FCO LE:PRO" _id=1 _ck=6a06665467 sig=""

例: Pro ライセンス

HOST host_name ethernet_mac 5053 ISV bricsys

LICENSE bricsys bricscad 15 permanent 10 share=uh contract=1 options="LA:xx_XX TY:FCO LE:PLA" _ck=6a06665467 sig=""

HOST host_name ethernet_mac 5053 ISV bricsys

LICENSE bricsys bricscad 15 permanent 10 share=uh contract=1 options="LA:xx_XX TY:FCO LE:PLA" _id=2 _ck=6a06665467 sig=""

これで、Liteライセンスはid=1、Proライセンスはid=2で定義されます。

オプション

たとえば、社内のエンジニアのみにProバージョンの使用を許可したい場合は、オプションに以下を追加することで実行できます。

GROUP engineers userA userB userC

INCLUDE bricscad GROUP engineers id=2

詳しい情報 : http://www.reprisesoftware.com/RLM_Enduser.html

RLM Projectによりライセンスをプール

同じRLMサーバ上で複数のレベルのネットワークライセンスがアクティベートされている場合、BricsCADのアクティベート時に取得するライセンスレベルをユーザーが決定できるように、以下が適用されます。

ユーザーは、ISV サーバー オプションと一致するRLM_PROJECT環境変数に基づいて、特定の BricsCAD ライセンス レベルを取得できます。ライセンス シートは、ID によって特定の PROJECT ユーザーのために ISV サーバー上で予約されます。

注: 以下のアクションは IT 部門の担当者が実行することに注意してください。

1. RLM サーバの設定

1. Add `_id=<number>` identifier to license files, just before the `_ck=xxxxxxx` string:
`.....contract=999-9999-9999-8888 options="LA:xx_XX TY:NFR LE:PRO _id=1 _ck=4b07efdd90....`
`.....contract=999-9999-9999-9999 options="LA:xx_XX TY:NFR LE:LIT _id=2 _ck=4b07efdd90....`
2. Add RESERVE option for PROJECTs and license IDs to ISV server, for all the seats of the licenses: RESERVE 5 bricscad
`PROJECT bc_pro id=1`
`RESERVE 5 bricscad PROJECT bc_lite id=2`

2. BricsCADユーザーの設定

1. ユーザーマシン上の一時環境変数RLM_PROJECTをSETするスクリプトを作成し、BricsCADがRLMサーバーとPROJECTライセンスプールをネゴシエートできるようにします。
2. 特定のスクリプトを実行することで、BricsCADが希望するライセンスレベルを引き出せるようになります。*.CMD(コマンドプロンプト)ファイルである場合もあります。
 - `@echo off`
`set RLM_PROJECT=bc_lite`
`call "C:\Program Files\Bricsys\BricsCAD V21 en_US\bricscad.exe"`
 - `@echo off`
`set RLM_PROJECT=bc_pro`
`call "C:\Program Files\Bricsys\BricsCAD V21 en_US\bricscad.exe"`
 - または *.PS1 (パワーシェル) ファイル:
`$env:RLM_PROJECT = "bc_pro"`
`Start-Process -FilePath "C:\Program Files\Bricsys\BricsCAD V21 en_US\bricscad.exe"`
 - `$env:RLM_PROJECT = "bc_lite"`
`Start-Process -FilePath "C:\Program Files\Bricsys\BricsCAD V21 en_US\bricscad.exe"`

すべてのライセンスシートはRLMオプションで予約されているため、RLM_PROJECT変数が存在しない場合、またはISVサーバーオプションと一致しない値を持つ場合、BricsCADはライセンスを取得できません。

利用可能な座席数を5以上に増やすか、RESERVE数を5未満に減らすと、一部のライセンスが自由に利用できるようになります。

RLM_PROJECTは他のオプション(EXCLUDE/INCLUDE/...)でも動作するので、多くの設定が可能です。

高度な設定

ネットワークライセンスサーバーがセットアップされると、BricsCADはサーバーに接続しようとする時エラー-17を報告することがあります。その理由は、ウイルス対策、ファイアウォール、および/またはプロキシサーバーの存在が原因である可能性があります。

その他のエラーコードを調査する: https://help.bricsys.com/document?title=licensing/error_codes_title.html

ISV bricsys port=[ポート番号]

ここで、[ポート番号] は、ISV サーバー テーブルからコピーされたポート番号に置き換える必要があります。

アンチウイルス

ウイルス対策ソフトウェアがサーバー上で実行されていて、Windows では **rlm.exe**、Linux / Mac では **rlm** ライセンスサーバープログラムをブロックしている場合は、ウイルス対策ソフトウェアで RLM サービスのブロックを解除する必要があります。

サービスのブロックを解除する方法については、ウイルス対策の構成を参照してください。

ファイアウォール

サーバーとBricsCADの間にファイアウォールがインストールされている場合、ファイアウォールで2つのポート番号を開く必要があります:ポート番号5053とBricsysライセンスサーバーに割り当てられたポート番号です

このポート番号は、ライセンスサーバーの起動時に動的に割り当てられます。ファイアウォールでこのポートを開くには、まずサーバー上の Bricsys.lic ファイルでポートを設定する必要があります。

1. ライセンスサーバー管理ウェブインターフェイスを開きます:<http://localhost:5054>。
2. 左側の **ステータス** ボタンをクリックします。[LicenseServer] (ポート5053) の "RLM" のページのステータスが表示されます。
3. ISV サーバー テーブルで、bricsys 行を見てください。ポート番号が 2 番目の列に表示されます。このポート番号をコピーします。
4. テキストエディタ(メモ帳、Geditなど)でBricsys.licファイルを開きます。ファイルの既定の場所は、C:\Program Files (x86)\Bricsys\Bricsys Network License Manager。
ISV bricsys という行を修正することで、ポート番号を固定することができます。
5. ファイアウォールで、番号5053とBricsys.licファイルに追加したポート番号の両方を開きます。
6. シャットダウンし、ライセンスサーバープログラムを再起動します。

注: それでも解決しない場合は、ライセンスサーバープログラム (Windowsではrlm.exe、Linux / Macではrlm) をファイアウォールの例外の例外として追加し、ライセンスサーバーを再起動します。

The screenshot shows the Reprise License Server Administration interface. The main content area displays the status for "rlm" on LicenseServer (port 5053). A table shows RLM software version (v10.1 (build:2)) and RLM comm version (v1.2). Below this, there are statistics for rlm: Start time (12/18 1...), Messages (0 (0)), and Connections (0 (0)).

An ISV Servers table is visible at the bottom, with the following data:

Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	OPTIONS	TRANSFER	SHUTDOWN
bricsys	61916	Yes	0	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys

A Notepad window titled "Bricsys.lic - Notepad" is open, showing the contents of the license file. The line "ISV bricsys port=61916" is highlighted in red, and a red arrow points from this line to the "port" column of the "bricsys" row in the ISV Servers table.

ローミング(借用)

ネットワーク・ライセンスを使用すると、フローティング・ライセンスを設定して、後でネットワークから切断されるシステムにローミングすることができます。結果のライセンスは、ライセンスがローミングに設定されたときに指定された日数だけ使用できます。この期間が過ぎると、ライセンスは自動的にチェックインされます。必要に応じて、ローミングされたライセンスを早期にライセンスプールに戻すことができます。

ネットワークライセンスサーバー上のライセンスファイルには、パラメーター `max_roam_count` が含まれています。これは、デフォルトでネットワークライセンスの総シート数に設定されます。

Linuxネットワークライセンスサーバーのセットアップ

ネットワークライセンスサーバーとして使用するコンピューターにBricsysネットワークライセンスマネージャをダウンロードしてインストールします。

1. [Bricsysネットワークライセンスマネージャ\(Linux\)のダウンロード](#)
2. **Bricsys-NetworkLicenseManager.tgz**を任意のフォルダに展開します(コマンドライン:`tar xvzf Bricsys-NetworkLicenseManager.tgz`)。
3. そのフォルダ内のアプリケーション`rlm`を起動します(そのフォルダ内のコマンドライン:`./rlm`)。
4. ブラウザでWebページ <http://localhost:5054> を開きます。
5. Web ページの左側にある [**システム情報**] ボタンをクリックします。イーサネットホストIDをコピーし、これを使用して、Bricsys Webサイトの **マイアカウント** ページでライセンスをアクティブ化します。
6. Bricsys Webサイトからライセンスファイルをダウンロードする場合、Bricsys-NetworkLicenseManager.tgzを展開したフォルダに保存します
7. **再読み込み/再起動**ボタンをクリックします。
8. **[ステータス]**ボタンをクリックしてサーバーのステータスを確認し、次のページでテーブルの**[bricsys]**ボタンをクリックしてBricsysライセンスを表示します。
9. ライセンスサーバーを構成する方法の詳細については、**[RLMマニュアル...]**ボタンをクリックしてください。その中で、サーバーの起動時に自動的に`rlm`を起動する方法について解説しています。

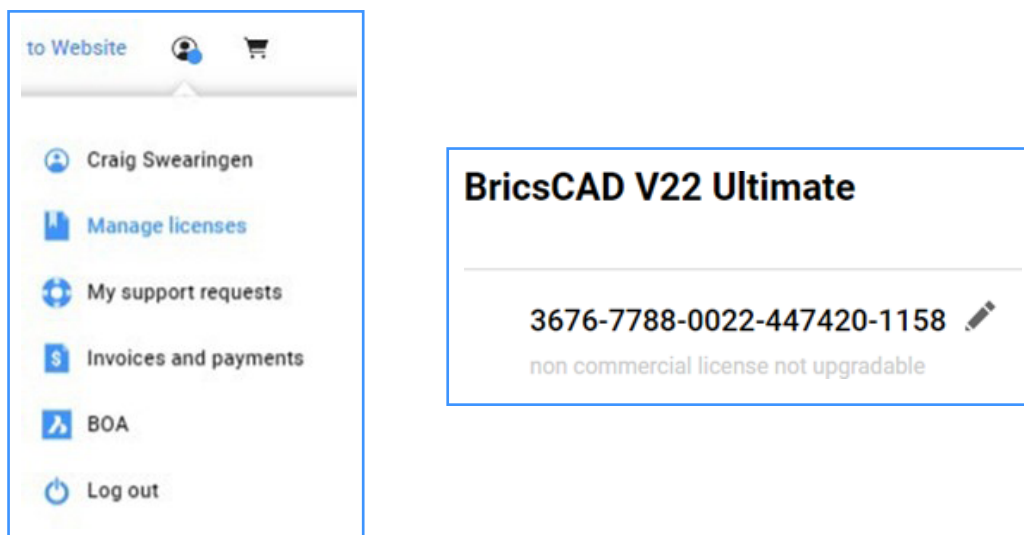
Networkライセンスが有効化され、サーバーが起動されると、ライセンスを提供する準備が整います。以上で、クライアントコンピュータ上で、BricsCADネットワークライセンスの使用が可能になります。

複数のBricsysアカウントによるBricsCADライセンスの管理

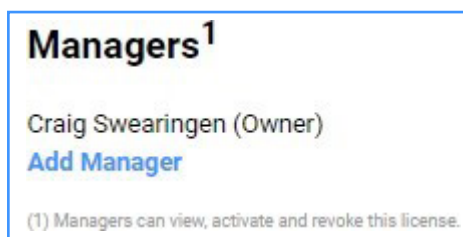
1つ以上のBricsysアカウントとライセンスを共有し、ライセンスの表示、アクティベーション、失効を許可することができます。

以下を実行します：

1. [BricsysのWebサイト](#)にログインする。
2. ユーザー名をクリックし、ドロップダウンメニュー [ライセンスの管理] を選択します。



3. [マネージャ]で、[マネージャ追加]をクリックします。



4. 新しいマネージャーのログインEメールアドレス*を入力し、**追加** アイコンをクリックします。新しいマネージャが追加されます。新しいマネージャに通知する電子メールが送信されます。名前のある [X] アイコンをクリックすると、マネージャを削除することができます。

*マネージャーは Bricsys アカウントを持っている必要があります。

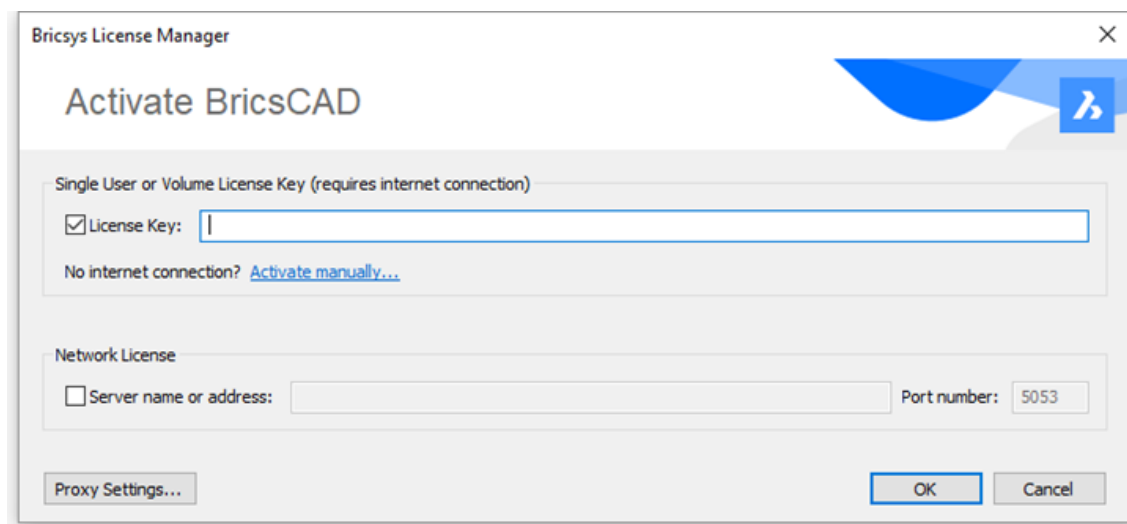
BricsCADのライセンスの変更

ライセンスをアップグレードまたはリプレースするには、この手順を使用します。

1. **LICENSEMANAGER** コマンドを起動します。**Bricsysライセンスマネージャ** ダイアログが表示されます。
2. **[ライセンス管理]** をクリックします。
[ライセンス情報] ダイアログが表示されます。

[変更] ボタンをクリックします。

BricsCADライセンスマネージャ - アクティベート BricsCADのボックスの表示/



3. ライセンスキーを**ライセンスキー**欄に貼り付けます。
4. **OK**ボタンをクリックします。
 - ライセンスキーはインターネット経由で登録されます。
 - ライセンスキーが正常にアクティベートされると、ダイアログが表示されます。
5. ダイアログボックスのテキストを読み、**[理解]** ボタンをクリックします。

BricsCADライセンスの無効化または取り消し

以下の手順で進めます：

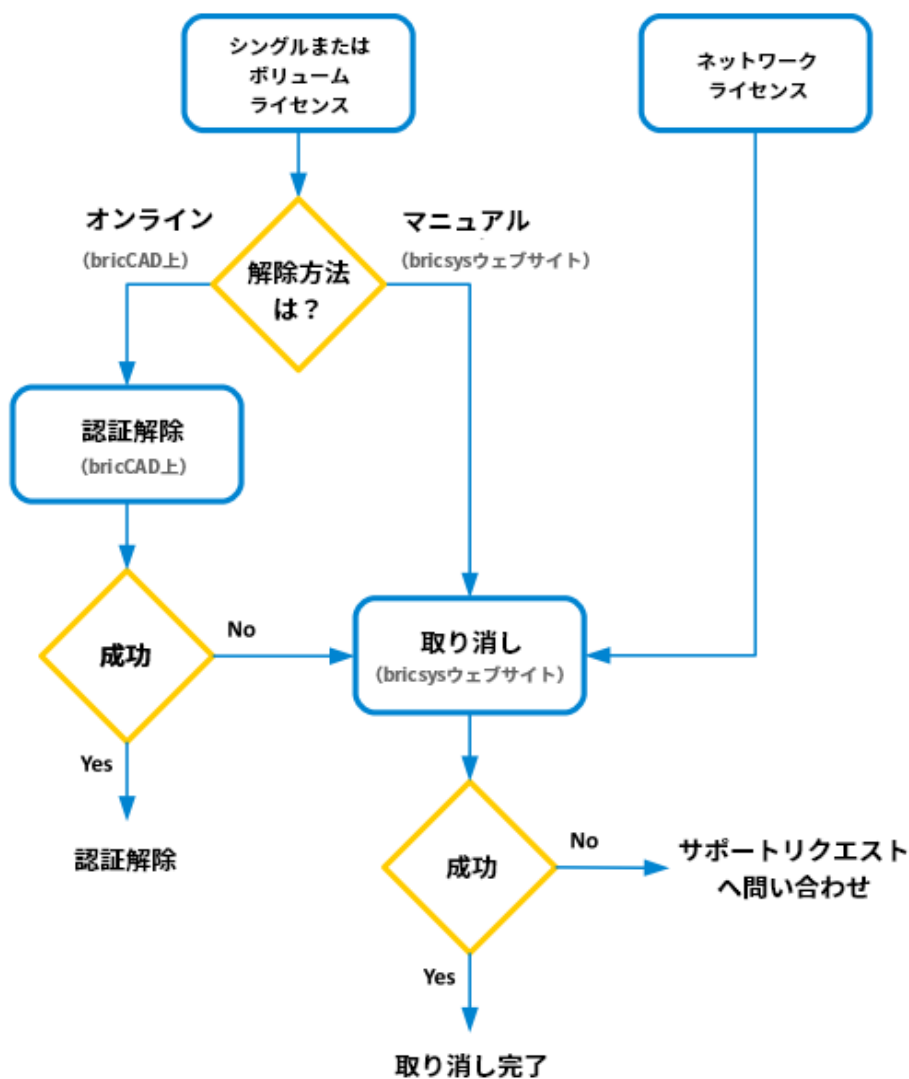
- 別のコンピュータへのライセンス移行
- コンピュータからBricsCADを完全に削除します。
- 新しいハードディスクのインストール、パーティションの変更、OSのアップグレード後にBricsCADを再アクティベートします。

BricsCADライセンスをアクティベート解除するには、インターネット接続が必要です。

インターネットに接続されている別のコンピュータを介してライセンスを手動で非アクティブ化することはできません。非アクティブ化することはできません。

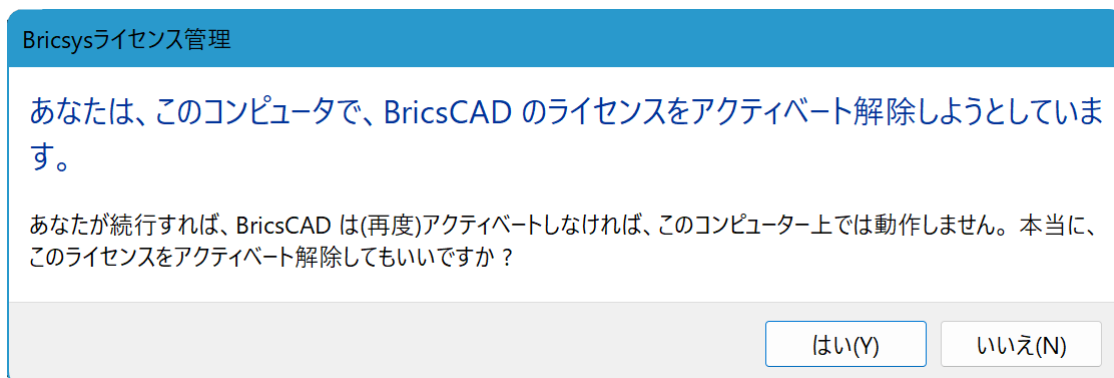
- 手動でアクティブ化されるシングルライセンスとボリュームライセンス。
- ネットワークライセンス
- 体験版ライセンス

以下の表は、BricsCADライセンスを非アクティブ化する方法について説明します。BricsCADライセンスを非アクティブ化できない場合は、ライセンスを取り消すことができます。



ライセンスのアクティベート解除

1. [LicenseManager](#) コマンドを起動し、[Bricsys ライセンス マネージャ] ダイアログ ボックスの [ライセンスの管理] オプションをクリックします。[ライセンス情報] ダイアログ・ボックスが表示されます。
2. [非アクティブ化] をクリックします。



3. 確認ダイアログ・ボックスの [はい] ボタンをクリックして、ライセンスを非アクティブ化します。

ライセンスはアクティベート解除され、別のコンピュータでアクティベートできるようになります。

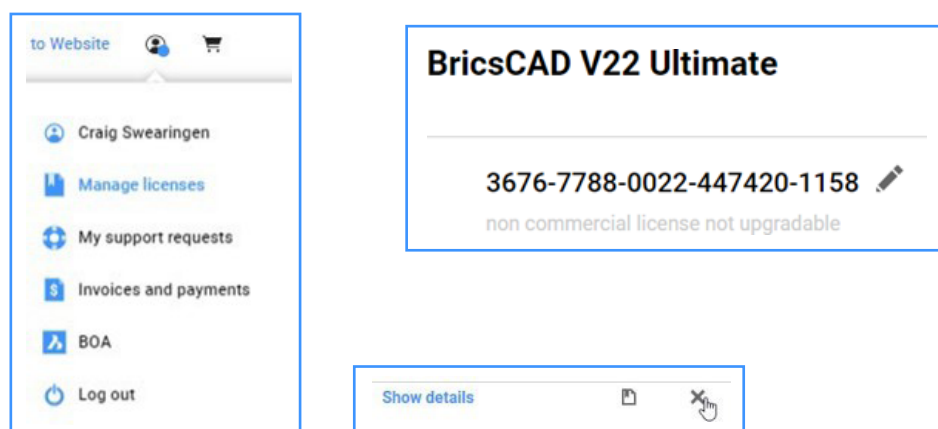
ライセンスの取り消し

ライセンスを取り消したのは、ライセンス認証が不可能な場合のみです。

以下の手順で進めます：

- ネットワークライセンス、または手動でアクティベートされたシングルライセンスまたはボリュームライセンスを手動で非アクティブ化します。
- ハードディスクがクラッシュした後のBricsCADを再アクティベートすることができます。
- 新しいハードディスクのインストール、パーティションの変更、OSのアップグレード後にBricsCADを再アクティベートします。
- 別のコンピュータへのライセンス移行
- コンピュータからBricsCADを完全に削除します。

1. [Bricsysのウェブサイト](#) にログインします。
あなたのライセンスを含むBricsysのアカウントでログインしていることを確認します。



2. 下にスクロールして X アイコンをクリックしてライセンスを取り消します。

別のコンピュータにライセンスを移行

ステップ1:古いコンピュータ上のライセンスを非アクティブ化します。参照: ライセンスの非アクティブ化

ステップ2:「新しい」コンピュータ上でBricsCADを起動します。

ステップ3:「新しい」コンピュータ上でライセンスをアクティベートします。

ネットワークライセンスを別のサーバーへの移行

以下を実行します:

1. ライセンスを取り消します。
2. 新しいサーバーでライセンスをアクティベートします。
3. 旧サーバー上のライセンスマネージャーをシャットダウンし、旧サーバー上のライセンスファイルを削除してください。

注:取り消し回数には上限があります。

有効なライセンスはすべてBricsysのウェブサイトで確認できます(ログインが必要です):

<https://www.bricsys.com/protected/account/licenses>。

BricsCAD Communicatorのアクティベート

あなたのコンピュータにBricsCADコミュニケーターをインストールした後、あなたはソフトウェアをアクティブにする必要があります。

1. LICENSEMANAGER コマンドを起動します。Bricsysライセンスマネージャダイアログボックスが表示されます。
2. **BricsCAD コミュニケーター**で、**[ライセンスの管理]**をクリックします。**[Activate BricsCAD Communicator]**ダイアログボックスが表示されます。
3. **[今すぐアクティベート...]**をクリックし、有効なBricsCADコミュニケーターライセンスキーを**[ライセンスキー]**フィールドに貼り付けます。
4. OK ボタンをクリックします。ライセンスキーはインターネット経由で登録されます。確認ダイアログボックスが表示されます。
5. ダイアログボックスのテキストを読み、**[理解]** ボタンをクリックします。

USECOMMUNICATOR システム変数

Communicatorライセンスがアクティベートされたことを示します。ライセンスが変更されると、プログラムの再起動後に新しいレベルが有効になります。

- 0: ライセンスなし、コミュニケーターのインポート形式、およびエクスポート形式は使用できません。
- 1: 試用版、試用モードで Communicator を実行し、30 日後に有効期限が切れます。
- 2: full、フルコミュニケーターのインポート/エクスポートセットを実行します。

追加のサポートを探す/お問い合わせ BricsCAD

- <https://blog.bricsys.com/migration/>
- <https://help.bricsys.com/>
- <https://www.bricsys.com/protected/support/NewSupportRequest.do>

BricsCAD®への移行についてCADの専門家が私たちに話したこと:

「AutoCADを28年間使用した後、迅速かつ簡単なインストールの後、さまざまな年の経験を持つ1000人以上のユーザーをBricsCADにシームレスに移行しました。ユーザーは世界中にいて、追加のトレーニングを必要とせずに切り替えました。」

Lorelei Connors, Subsea 7のCAD/製図マネージャー

「BricsCADは他のCADソフトウェアからの移行を容易にします。そのプロセスは非常にスムーズに進みました」
日鉄テックスエンジのテクニカルセンター技術開発部

「AutoCADからBricsCADへの移行は実際には非常に簡単で、すべてのコマンドが同じで、AutoCADで作成した.dwgファイルを引き続き使用できます。翌日に、BricsCADのコツをつかむことができます」

Tekenbureau van Amersfoort オーナーのBen van Amersfoort氏

「BricsCADの最初の利点は、価格設定と永久ライセンスです。2番目の大きな利点は、BricsCADが他のCADソフトウェアおよびそれらを使用して作成されたデータファイルとの高い互換性です。」

TAKAMIYA技術部長の竹村邦彦氏

「2人少人数のチームがライブラリやテンプレートに関する準備を全て行いました。次に、AutoCAD® LT と並行して実行される BricsCAD を展開し、必要に応じてフォールバックがあることを確認しました。Windows 7からWindows 10への移行を行ったとき、AutoCAD® LTを削除しましたが、誰も気づかなかった」

SLIK Architektenの創設パートナーSteffen Lemmerz氏

「移行の開始時に両方のプログラムがあったため、誰もが自分で選ぶことができました。

しばらくすると、ほとんど全員がBricsCADに切り替えました」

EBB Ingenieurgesellschaft,CAD担当者, Franz Dietz氏

「BricsCADを使用していない人が増えていることに驚いています。誰もが必要なすべてのAutoCAD機能を手に入れることができ、サブスクリプションを購入する必要がないことを知っていれば、彼らは切り替えると思います。

さらに、あなたのお金を節約します。

それは簡単なことではありません。」

Jason Spilker, プロジェクトエンジニア, ベクトル構造工学

あなたは一人ではありません、ますます多くのCAD専門家がBricsCADに切り替えている理由を見つけてください:

bricsys.com/en-eu/customer-cases

そしてG2ウェブサイトのレビューを見てください:

g2.com/products/bricscad/reviews/bricscad-review-653216

次は何ですか?今すぐBricsCADに移行し、AIによる自動化とより柔軟なライセンスのメリットを低コストで享受し始めてください。